



杉並区更女たより

第 54 号



「杉並区更生保護女性会定時総会」

令和 8 年度 5 月 14 日 阿佐谷地域区民センター

参加者 60 名 委任状 184 名により開催

第 1 部では、区長代理の杉並区保険福祉部部长 福原義之氏のご祝辞ではじまり、ご来賓の方々からのご祝辞を頂戴しました。令和 7 年度、事業報告、決算報告、監査報告、令和 8 年度事業計画案、予算案が審議され、承認に至りました。

第 2 部では二胡の素晴らしい演奏で参加者からの大きな拍手で閉会しました。



第 76 回社会を明るくする運動

「ひまわりフェスタ」

令和 8 年度 7 月 26 日 セシオン杉並

今年も更生保護を多くの人々に伝える「ひまわりフェスタ」が開催されました。今年は大部分が涼しい室内の展示室とホールでの開催となりました。

ホールでは、特殊詐欺被害防止の寸劇や漫才、杉並児童合唱団のミニコンサートが行われました。

展示室では、白バイ体験やパンの販売、缶バッジ製作、パネル展示、吾妻町の野菜の販売、赤十字の初参加や刑務製品の販売がありました。

更女メンバーはピンクのベストを着て参加し、展示室の「キッズコーナー」で、うちわにシールや絵を貼ってもらい、仕上がったうちわとお土産をもらい皆嬉しそうでした。52 名の参加があり、島原手延べそうめんとビスケットも完売となりました。



「更生保護女性会新会員研修」

令和 8 年度 6 月 5 日 東京保護監察所

◆ 研修を通して更女としての基本的な氏名や心構え、そして地域における活動の意義を改めて深く理解することが出来ました。特に強く残ったのは、再犯防止に向けた取り組みの重要性です。社会復帰を目指す人が、「社会と繋がっている」と実感できることが再犯防止には欠かせません。その橋渡しこそが、更女の大切な役割であると、改めて認識しました。八王子、練馬の活動報告を聞き、更女の活動は、地域によって温度差があることも解りました。

(泰 順子)

◆ 更女バッジの八重桜は、「豊かな教養」「理知に富んだ教育」「淑やか」で、知識や教養を積み重ねる姿に見立てたものと知りました。豊かな心を作ろうとする自分の為になり、人生の生き甲斐となるように導いてくれます。更生保護は、厚生ではなく、甦る（よみがえる）で、共に生きると言う思いを地域住民の方々と身近に考え共有するということを改めて再確認しました。

(村野 京子)

◆ 会場には、各地区からの 69 名が集まり、活気に包まれていました。観察所の次長のお話しや連盟会長からの更女の歴史や活動を学びました。練馬地区や八王子地区から美味しそうな献立の写真を基に子ども食堂運営の活動報告がありました。また、各地区の方が熱心に活動されていることを知りました。更生保護活動の歴史から学び、女性ならではのコミュニケーション能力を活かし定年のない更生保護活動を続けて行きたいと思います。

(森田 恵子)

「東更女観劇会」 - 新橋演舞場にて

大勢のご参加ありがとうございました。

